

関係会社との一体感を持った連結経営を目指す三井物産の関係会社の会である「三栄会」。その最新の活動状況を紹介するシリーズです。その第5回として、四つの委員会の活動についてご紹介いたします。

- お問い合わせ先：事業管理部企画室 東京三栄会事務局 ☎7569
eメールアドレス：SaneikaiTKAOI@mitsui.com
- 東京三栄会ホームページ：http://www.san-eikai.or.jp

横の連携を深める四つの委員会活動

東京三栄会の組織は、縦串としての部会と横串である委員会により構成されています。昨年末の総会で組織再編が承認され、新たに「文化交流委員会」も設立、文化交流委員会、広報委員会、スポーツ交流委員会、研修委員会の四つの委員会となりました。

今回は会員各社の横の連携を深める役割を担う、各委員会のさまざまな活動をご紹介します。

■文化交流委員会

文化交流委員会は、今年四月に東京三栄会のメンバー会社を対象に文化活動に関するアンケートを実施。その結果、文化活動でやってみたいことの一位は料理、二位が陶芸、このほかに写真、絵画、



スポーツ交流委員会による、昨年度の野球大会で優勝した日本ユニシス(株)の皆さん

生け花、茶道など、また文化活動に一番積極的なのは二十歳代の女性であることも判明しました。相應の設備が必要なものもあり、課題はいろいろありますが、当面、生け花、茶道を除く、四つの「教室」を早期に立ち上げる準備に入っています。

一方、文化交流委員会では文化活動と合わせて、社会貢献活動の開始を視野に入れており、実施したアンケートの結果に基づき、具体的な企画を検討する予定です。〈海老名委員長(三井物産セネラルサービス(株)顧問)記〉

■広報委員会

広報委員会の活動は、主として機関紙『サンエイニュース』の発行です。三栄会発足時から発刊され、二十六年有余の歴史があります。本委員会は、年三回の発刊に合わせ開催し、編集内容を検討、恒例行事や、部会、委員会が主催する講演会などには都度参加し、分担して記事をまとめています。そのほか、「MBK LIFE」向けの原稿作成や、ネットワーク化推進委員会の業務を引き継いで、三栄会ネットワーク便覧と三栄大会

ホームページの作成にも携わっています。

前号から『サンエイニュース』のデザインも一新され、より読みやすくになりました。これらの活動を通して、会員各社のコミュニケーションがさらに図れるよう努めています。

〈安藤委員長(三井物産ハウステクノ(株)CSR推進部広報室)記〉

■スポーツ交流委員会

スポーツ交流委員会は、スポーツを通じ会員各社の親睦と健康促進を主な目的として活動しています。毎年、春から秋にかけて野球、テニス、ボウリング、卓球の四種目の大会を実施しており、常連チームから企業連合チーム、新規参入チームまで幅広い参加を頂いています。三、四年前からは三井物産の参加を得て、スポーツの面でも連結体制が出来てきました。種目ごとに世話人会が組織され、会場の手配から参加企業の募集、予算の申請、当日の運営に至るまで、確実に実行していることが、各種大会が長く続いている最大の要因であると考えています。

〈藤松委員長(アラマーク ユニフォー)



研修委員会による、112名の参加者を迎えた、本年4月の新入社員研修

■研修委員会

研修委員会では、年間十三講座、一泊二日の合宿形式で、各講座四十名の規模で実務を中心とした各種研修を実施しています。受講者は年間五百二十名を超え、委員各社のご協力の下、委員が交替で全研修に立ち会い、運営しています。二か月に一回、全委員で受講者アンケート結果と講師の方の意見について討議し、次回研修への改善につなげています。新日本空調(株)の藤井内部監査役室長、中央ビルト工業(株)の久保監査役のお二方「名物委員」の人生哲学と研修に対する見識を得て「温故知新」、講師の方々と一緒になって充実した研修の提供を目指しています。

〈飛石委員長(物産ロジスティクスソリューションズ(株)常務取締役)記〉